

松前町

No.82

2014年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

3月定例会



2P

3月定例議会

超緊縮予算 平成26年度予算決定！

6P

委員会ニュース

可決！水道料値上げ修正案20%に ほか

12P

一般

質問

- ・消費増税に対する支援は
- ・第4次松前町総合計画の進捗は
- ・消防団の強化と団員の処遇改善を
- ・災害弱者優先の避難場所確保を
- ・補助金等の申請書類の正当性確認はどこまで
- ・伊方原発の再稼動に町も反対を

笑顔で美味しいパンを届ける諏訪夫妻（紹介は裏表紙に）

微増の超緊縮予算で最大の効果を 89億7,781万円



春らん満の松前公園

3月定例会

3月議会定例会は、3月4日から20日までの17日間の会期で開催した。予算関連案件は、予算決算常任委員会、4日間の審査を行ない、最終日の本会議で全員一致により可決した。

条例案件1件は、議員提出の修正案を可決し、それ以外の理事者提出の22件の議案については、慎重な審議の結果いずれも原案通り可決した。

◎特別会計

(特定事業など収入、支出を別個に処理する会計)

国民健康保険特別会計	34億4,313万円
公共下水道事業特別会計	5億7,222万円
介護保険特別会計	26億5,611万円
後期高齢者医療特別会計	3億9,141万円

◎水道事業会計

収益的支出	4億4,449万円
資本的支出	2億2,596万円

●平成26年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金) 在高	108億3,351万円	見込額
	34万9,445円	町民一人あたり
基金(貯金) 在高	16億4,236万円	見込額
	5万2,975円	町民一人あたり

支出

前年比に増して、経常的経費(総務費や衛生費など)を更に創意工夫による節減に努めると共に限られた財源を真に必要な事業に重点配分している。

特に、消防(5.8%)、教育(18.8%)、農林水産業費(6.1%)は増となっている。義務的経費(支出が義務づけられ、任意に節減できないもの)は特に扶助費(民生費)が11.5%増の15億5千万円となっている。

収入

自主財源の主たる町税は、前年比2.8%増の40億4千万円を見込み、国・県などからの依存財源の主たる地方交付税は1.3%増の15億2千万円となるが、予断を許さない状況だ。ただ、民生費などの大幅な増加で財源不足に対応するため、可能な限り地方債を充当し繰入金1億円で対応する。

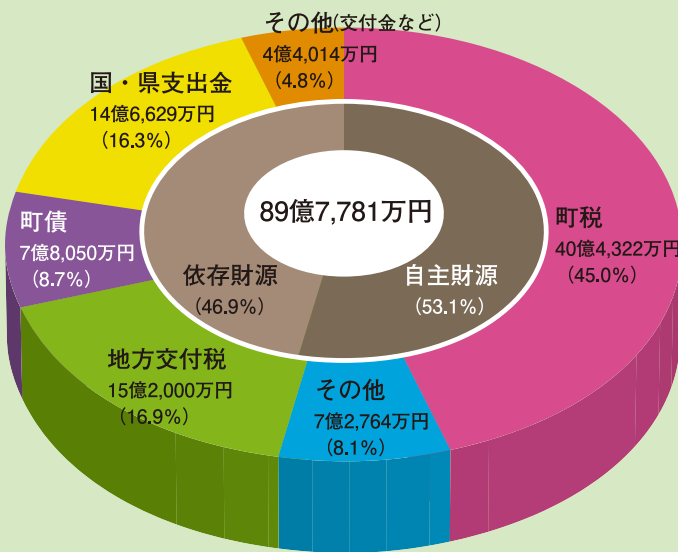


一般会計

前年度より約1億円 一般会計予算

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

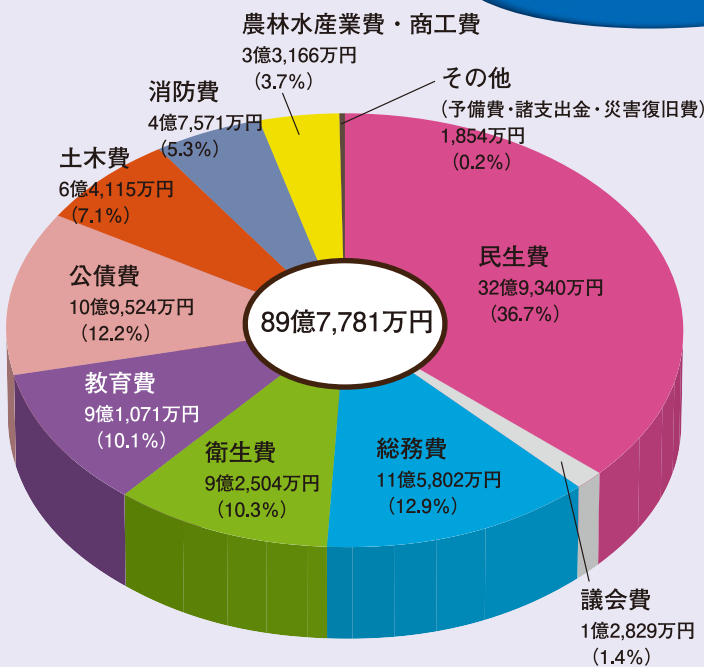
収入



自主財源：町が自前で賄うことができる財源
依存財源：国や県の補助金や借金に頼る財源

町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	自治体の財源不足を補うための借金

支出



民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費。下水道事業特別会計への支出も含む。

～クローズアップ 26年度 どうかわる 松前の暮らし～

(1) 安心・安全・快適な町づくり

- ◇J-アラート特別警報対応・防災行政無線難聴対策工事
- ◇交通安全施設整備（カーブミラーなど）
- ◇アスベスト撤去工事への補助金
- ◇住宅太陽光発電システム設置への補助金
- ◇浄化槽設置への補助金（公共下水道整備事業計画区域外）



(2) 健やかでやさしい町づくり

- ◇病児・病後児の保育委託
- ◇在宅福祉サービス（配食・健康づくり・生活支援など）
- ◇安心子育て 無料で妊婦歯科健診
- ◇妊婦・乳幼児の健康診査や保健指導
- ◇くらしの支援 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金

(3) 人と文化が輝く町づくり

- ◇小学校の教育施設の維持管理
- ◇文化センター運営管理（舞台作業灯回路ユニット改修など）
- ◇平成29年えひめ国体めざし 町民グラウンドホッケー場整備
- ◇保護者支援 幼稚園就園奨励費補助金増額



(4) 豊かでにぎわいのある町づくり

- ◇緊急かんがい排水工事
- ◇地場産業推進イベントで全国にPR活動
- ◇まさき町産業まつり「たわわ祭」今年も開催

(5) 飛躍を支える基盤をつくる町づくり

- ◇町民の協力のもと、地籍測量業務進む
- ◇町民の足 コミュニティバス運行支援
- ◇町営・改良住宅管理（施設維持管理・補修工事）
- ◇木造住宅耐震化促進 補助金30万円アップ
- ◇下水路等維持・整備（排水路の整備）



(6) みんなで力を出し合う町づくり

- ◇公園維持管理・コミュニティ広場の遊具点検
- ◇ボランティアセンター活動事業補助金

特別会計予算

水道事業会計

総額 6億7,046万円
 給水戸数 1万831戸
 年間給水量 328万1,516 m³
 1日給水量 8,990 m³

国民健康保険特別会計

総額 34億4,313万円

後期高齢者医療特別会計

総額 3億9,141万円

公共下水道事業特別会計

総額 5億7,222万円

介護保険特別会計

総額 26億5,611万円

一部事務組合予算

総額 2億6,963万円
 分担金及び負担金 1億1,562万円
 (内松前町分 5,582万円)
 出身地別措置者数(平成26年3月現在)
 松前町… 18人 伊予市… 13人
 砥部町… 4人 組合外… 15人



伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合
和楽園

総額 5億3,932万円
 分担金及び負担金 3億2,397万円
 (内松前町分 2億348万円)



処理施設にて監視中

伊予市松前町公立衛生組合
塩美園

総額 17億6,477万円
 分担金及び負担金 15億4,114万円
 (内松前町分 4億2,340万円)



新しくなった消防署施設(砥部町)

伊予消防等事務組合
各消防署及び聖浄苑

総額 3億5,346万円
 分担金及び負担金 3億134万円
 (内松前町分 1億3,977万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター

当初予算 補正予算

予算決算

委員会 ニュース

新年度予算の使い道を 議員全員で審議



町民に安全を呼びかける防災無線

問 Jアラート特別警報などの工事の内容は。
答 新たに気象庁発表の特別警報も自動起動により防災行政無線放送される工事だ。

問 法人町民税が前年度に比べ減額の理由は。
答 法人税割が企業の収益の悪化により減少したため。

子育てしやすい町に



やさしく・ていねいな対応が評判
松前町保健センター

問 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の対応は。
答 広報まさきやホームページへの掲載、チラシの配布により周知し、申請は住民税が確定する6月から受付ける。給付は、受け付け後、概ね3ヶ月で終了するが、申請漏れをなくすため、申請していない方については、わかる範囲で通知する。

問 新規事業の妊婦歯科検診の対応は。
答 母子手帳を交付する際に併せて、受診券を配布する。費用は、受診した場合一人1回のみ3,000円で本人負担はない。

問 今年度の国土調査で実施予定のエミフルの敷地は問題ないか。
答 フジが造成する前に地権者、町、関係者などにより立会いを行い、精度の高い測量をしているため、問題はない。
問 文化財保護の取り組みは。
答 文化財保護審議会で検討を行い、的確な保管方法や保管場所、保護方法を確立したい。

平成26年度 一般・特別会計 平成25年度 一般・特別会計

25年度補正予算

問 財産収入の内容は。
答 伊予市と共有の火葬場跡地の売却収入で松前町分に相当する697万4千円だ。

問 地域密着型介護サービス給付費の減額理由は。
答 事業所の開設が遅れたためである。

水道事業会計

問 下水道事業会計の使用料や地方債の償還の状況は。
答 使用料は、処理場の経費、使用料の徴収経費、地方債償還の利子分に充当するのが原則だ。現在は、処理場の経費と使用料徴収の経費には充当できているが、地方債の償還利子には、ほとんど充当できていないため、一般会計からの繰入れを行なっている。

問 水道の検針を2か月に一回にし、支払いはひと月ごとにする、浄水場や水源地の電力を入札にする、浄水場などの送水の水圧を下げるなど、節約の考えは。
答 検針については、以前から検討を行ってきたが2か月に一回になると徴収時の金額が倍になり、住民への負担や徴収率の低下、宅内漏水の発見の遅れなどが懸念されるため現状のままで行なう。

問 電力の入札については、停電への担保が必要であり、他市町の状況を見て検討したい。
答 送水の水圧を下げることは、漏水が減り、電気量も抑えられるため、浄水場の運転を含めた見直しを検討している。



安全な美味しい水を24時間供給する浄水場内

平成25年度 一般会計補正予算概要

■ 予算総額 (単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	94億2,452万	△1億1,781万	93億 671万	△1.3%
前年度	96億6,074万	△127万	96億5,947万	△0.0%
前年度対比	97.6%	9,298.7%	96.3%	

■ 松前町一般会計補正予算（第4号）主要事業 (単位：円)

科目	項目	金額
衛生費	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	220万
土木費	道路ストック総点検事業	700万
諸支出金	財政調整基金積立金	1億2,624万
	大規模地震災害対策基金積立金	3,040万

委員会 ニュース

総務 産業建設

⑥ 松前町水道事業給水 条例の改正

要旨

現在、水道事業会計は、収入不足により、剰余金で補填している。平成27年度以降は、剰余金が無くなり、水道使用料の収入増も期待できず、老朽化している西古泉水源地の改築、耐震化対策の費用が増加するため約40%増に料金を改定する。

水道料金は修正案を可決！

値上げ幅の根拠は、26年度から30年度の5年間で水道使用料収入と施設の維持管理費などの支出の試算で決めた。

★浄水場の建設により、細菌対策、水量確保の担保ができるので、料金改定はやむを得ない。

主な意見

★大幅な値上げのため、建設予定の浄水場も数年遅らせれば、値上げ時期も遅らせる。
★電力購入の入札、漏水対策などのコスト削減を先にすべきである。

★値上げはやむを得ないが値上げ幅を半分の20%にされた。

結果

委員から値上げ幅を約20%にした修正案が提出された。
賛成多数で修正案可決



値上げやむなしの水道料金 上げ幅20%で決着

伊方原発の再稼働を反対する意見書の提出を求める請願

◎ 請願者

子供たちの未来を守る愛媛の会

会長 宮内 仁子
紹介議員 村井慶太郎

◎ 論点

本請願は、伊方原発から50kmしか離れていない松前町は、万一、伊方原発で事故が発生すれば多大な被害を受ける可能性がある。町民の命、財産を守るため伊方原発の再稼働に反対を求める。

◎ 反対意見

原子力規制委員会の審査、地元伊方町の判断また、愛媛県の判断を待つべきである。代替エネルギーを示さずに、廃止すれば中小企業などに電気料の負担がかかる。

◎ 賛成意見

電気は四国電力だけでなく、他から購入することもできるので、変更による企業負担は殆ど無い。現在、原発は止ま

ているが電力の不足はなく生活に支障をきたしていない。
反対多数で不採択

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書

◎ 請願者

愛媛県国家公務員労働組合共闘会議
議長 長 萬家正人
紹介議員 稲田 孔

◎ 論点

本請願は、国は、地方出先機関と一体となり役割を発揮している。国と地方の共同を強め公務・公共サービスの体制をはかり国の出先機関や独立行政法人の体制・機能の充実を求める。

協議で特に意見はなかった。
反対多数で不採択

「特定秘密保護法案」の廃止を求める意見書の提出を求める請願

◎ 請願者

平和と民主主義、くらしを守る愛媛県民大運動各界連絡会議
議長 長 田副千秋
紹介議員 稲田 孔

◎ 論点

本請願は、特定秘密保護法案は特定秘密を決めるのが行政機関の長であり行政機関の都合で隠したい情報を国民から隠すことが出来る。また、特定秘密を無制限に広げる可能性があり、何が秘密かそれも秘密になる点など問題があり国民の知る権利を阻害する。このため本法案の廃止を求める。

◎ 反対意見

現在、国会で議論がなされているため状況を考慮する必要がある。
反対多数で不採択

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願

◎ 請願者

2014年国民春闘愛媛共闘会議

議長 長 今井正夫
紹介議員 稲田 孔

【論点】

本請願は、中小企業への助成や融資、仕事起こしや単価改善に繋がる施策の拡充と最低賃金を改善することは景気刺激策として有効である。よつて、最低賃金の格差を無くし、大幅に引き上げ、中小企業支援策拡充の実現を求める。

【反対意見】

海外との最低賃金を比較しているが先進国だけでなく、他の国との比較も必要。本来、海外と比較するものではない。最低賃金は、各都道府県における経済状況、企業業績、人口規模などで決めるものである。

【賛成意見】

日本は生活水準の高い国であり、海外の先進国と比較するのはおかしくない。日本がリーダー役を果たさなければならぬ。

反対多数で不採択

- ⑤ 松前町法定外公用財産の管理に関する条例の改正
 - ②① 土地改良事業の施行について
 - ②① 反訴の提起について
- 以上3案は全員一致で可決

文教厚生

町外通学児童も入れる 放課後児童クラブに

③ 松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の改正

【要旨】

放課後児童クラブの対象児童は、町内に住所を有する児童としていたが、住所要件を外し、町外から通学する児童も対象にする。

【主な質疑】

希望者が3名いる。選考については、町内外関係なく同じ基準で行う。

民間委託や定員増など今後の在り方とその対応は、子ども子育て会議などで検討していく。

全員一致で可決



手狭になつた放課後児童クラブ教室

⑱ 松前町総合福祉センターの指定管理者の指定について

【要旨】

指定期間が3月末で終了するため今後5年間の指定を行なう。

【内容】

松前町社会福祉協議会は、町と連携して総合福祉センターで事業を実施している。今まで8年間適正に施設管理を行っている実績とノウハウがあるため、引き続き指定管理者として選定する。

【主な質疑】

施設備品の更新は、指定管理者と定期的

- ⑤ 松前町法定外公用財産の管理に関する条例の改正
 - ②① 土地改良事業の施行について
 - ②① 反訴の提起について
- 以上3案は全員一致で可決

に情報交換を行い、今後也十分協議して対応する。一部修繕費用を含んだ金額となつているが、その他の条件については前回と同じである。

全員一致で可決

⑲ 松前町児童館の指定管理者の指定について

【要旨】

指定期間が3月末で終了するため今後5年間の指定を行なう。

【内容】

児童館は小規模で収益性がない施設である。松前町社会福祉協議会は、

指定管理者として8年間適正に施設管理を行っており、引き続き指定管理者として選定する。

【主な質疑】

建物が老朽化しているが、問題点や要望はないのか。

児童館は北公民館と老人憩いの家と同じ施設の中にあり、それぞれが施設管理を行っている。

耐震化などについては、施設全体で考えていく。

全員一致で可決

議案番号など・議案名	議員名													
	稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

条例改正

① 町長等の給与の特例に関する条例の改正

行政改革の主旨を踏まえて引き続き町長・副町長・教育長の給料月額を減額する。
平成27年3月31日までに10%減とする。
全員一致で可決

② 松前町水防協議会条例の改正

第3次地域主権一括法の施行に伴う水防法の改正により水防協議会の委員の定数の規定がなくなったため、町独自の規定を設けた。
改正前と同じ委員定数15人と定めた。
(水防協議会では、水防計画その他水防に關し重要な事項を調査審議します。)
全員一致で可決

人事案件

② 松前町教育委員会委員の任命について

任期満了となるため、委員の再任について議会の同意を求める。
渡部 敏夫氏(再任)
全員一致で同意

③ 松前町監査委員の選任

前任者の任期満了に伴う後任委員の選任について議会の同意を求めるもの。
岡本 靖氏(北川原)
全員一致で同意



反対水道水の安定した供給のため第6次拡張事業を展開し、平成19年度に恵久美、本年3月に北伊予浄水場が完成した。
今後老朽化した西古泉水源地の建替えも南海トラフ大地震に伴う水道管耐震対策として早急な取り組みが必要だ。
平成16年から値上げせずだったが、27年度以降大幅な赤字が見込まれ40%値上げはやむを得ない情勢だ。20%で早期に再値上げをすることは反対だ。
賛成消費税が8%となるこの時期に一挙に水道料金を40%上げることは、次の理由により容認できない。
①平成16年度以降3カ所の浄水場整備計画により経費が増大することはわかっていながら問題を先送りしてきたこと。
②納得のいく企業努力をせず経費削減の施策が見えない。
③漏水対策をしても給水原価に反映されず。
よって20%の修正案に賛成だ。



3月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対

議案番号など・議案名		議員名													
		稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
請1	伊方原発の再稼働を反対する意見書の提出を求める請願	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	△	●
請2	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
請3	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	△	●
請4	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
1	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
2	松前町水防協議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
3	松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
4	松前町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
5	松前町法定外公共用財産の管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
6	松前町水道事業給水条例の一部を改正する条例に対する修正案（議員提出）	○	●	○	○	●	○	○	●	●	○	●	●	△	○
	松前町水道事業給水条例の一部を改正する条例（修正部分を除く原案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
7	平成25年度松前町一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
8	平成25年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
9	平成25年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
10	平成25年度松前町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
11	平成25年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
12	平成26年度松前町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
13	平成26年度松前町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

6議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

八束 正 議員 (13ページ)

- ◆消費税増税に対する町としての支援は
- ◆超高齢者化社会へ町としての対策は
- ◆町政60周年に向けた取り組みは

澤田 登代一 議員 (14ページ)

- ◆第4次松前町総合計画で土地利用計画の進捗は
- ◆同計画での産業の育成は
 - ・人口35,000人にむけて・歴史文化の振興と観光創出は

松本 一二美 議員 (15ページ)

- ◆消防団の強化と団員の処遇改善を
- ◆5歳児検診の実施を
- ◆消費税値上げによる対応は
- ◆コミュニティ・スクールの導入は
- ◆がん教育に対する取り組みは

藤岡 緑 議員 (16ページ)

- ◆平常時に災害弱者優先の避難場所確保を
- ◆指定避難場所の耐震補強整備の状況と今後は
- ◆育児支援コーディネーター事業への対応は

加藤 博徳 議員 (17ページ)

- ◆補助金等の申請書類の正当性確認はどこまで
- ◆水道会計の健全経営は
- ◆有機農業推進法施行後の結果は
- ◆ごみ減量とリサイクル率は

稲田 孔 議員 (18ページ)

- ◆伊方原発の再稼動に町も反対を表明すべきだ
- ◆消費税増税など悪政から町民を守るべきだ
- ◆社会保障制度改悪への対処法は



一般質問とは・
 ・議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
 ・議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
 ・登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。



超高齢化社会に対応できるか？介護老人福祉施設（鶴寿荘）



八束 正 議員

消費税増税に対する町としての支援は

国の経済政策の中で利用できるものを活用する

問

4月より消費税が8%になり町民の暮らしに大きな影響が出る。また、町内の中小零細企業へも需要の減少が予想されるが、町として支援を考えているか。

副町長

町の直接的な支援は考えてないが国の経済政策の中で利用できるものを活用する。国の給付金と子育て世帯臨時特例給付金は総額で1億3,700万円を今年度予算計上している。

中小零細企業支援対策は、地元商店活性化のためプレミアム商品券を毎年2回販売している。また、工事請負費の前払い金は、今年4月より契約金額300万円以上を130万円以上に変更した。

超高齢化社会へ町としての対策は

第6期介護保険事業計画を策定し町づくりを進める

問

全国でも少子・高齢化が進み当町においても平成26年度は、65歳以上の高齢者人口は8,500人を超え、高齢化率も27%を上回ると予想される。超高齢化社会へ町としての対策は。

保健福祉部長

現在は、高齢者自らの意思で自分らしく生き生きと暮らせる社会づくりと自助・共助による地域づくりを基本理念とした第5期介護保険事業計画に基づき事業を行っている。

今後は、団塊の世代が後期高齢を迎える平成27

年に向けて、できる限り住み慣れた地域で最期まで尊厳を持って自分らしい生活を送りながら老いていく事ができるような体制の整備が求められる。

来年度策定予定の第6期介護保険事業計画で整備し、町づくりを進める。



総合計画の推進で交差点も整備され…



澤田 登代一 議員

第4次松前町総合計画で土地利用計画の進捗は

土地利用推進のため国、県に制限解除を要望する

問

第4次松前町総合計画の土地利用で、発展に向けた土地利用を推進するため、3つの拠点と4つのゾーンを設定し、その基本的な整備方針が示されている。

町長

町総合計画での3つの拠点（①主核 ②副核

③流通）は、②の拠点で

浜交差点を含む松前駅周

辺の改良を行っている。

また、③の拠点ではJR

貨物基地移転後に開発を

誘導したい。

4ゾーンの①住宅市街

地は、調整区域により開

発が遅れている。②産業地

区では、北川原の工業団

地建設や東レ敷地内の施

設拡張に取り組んでいる。

③田園住宅、④田園環境地

区は、調整区域のため開

発が遅れているため調整

区域解除を国、県に要望

する。

同計画での産業の育成は

各産業の育成支援に取り組んでいる

問

景気の動向や地域間競争の激化などにより、厳しさが増しており、地域産業全体の活性化を促す取組みが求められる。

第1次、第2次、第3次産業の育成についてどのような対策や取組みを行っているのか。

町長

第1次産業（農業など）

は高齢化が進み農地、水路などの保全管理が難しい状況である。平成23

年から農地・水路や施設

の長寿命化を図る支援

を、24年から、人・農地

プランや新規就農者の経営開始計画の作成などを

支援している。

第2次産業（水産業な

ど）は漁業関係者と新たな付加価値を付けた製品

化、販路の開拓、地産地消の取組みを推進している。

第3次産業（商工業）

は産業連携推進協議会を

設け、商工業者と連携し

新商品開発、販路開拓に

取り組んでいる。



地域防災の要となる消防団



松本 一二美 議員

消防団の強化と団員の処遇改善を

団員の退職報奨金は 5万円引き上げる

問

消防団員は地域防災の要だ。

昨年成立した「消防団支援法」には、消防団員の確保や報酬の引上げをしていくことが盛り込まれている。処遇改善や装備品についての町の見解は。

総務課長

当町の団員報酬及び出勤手当は、県内の他市町と同等のレベルで報酬を引き上げる予定はない。退職報奨金は、退団した団員には階級を問わず5万円引き上げる。松前町防災対策プロジェクトチームの検討結

果などをもとに消防団装備の拡充をしている。今後消防団員の意見を積極的に取り入れながら、さらなる体制強化を図っていく。

5歳児検診の実施を

財政面などから実施は難しい

問

5歳児検診は、乳幼児健診から就学前の検診の3年の時間を埋める重要な検診だ。

保健師・保育士・医師の連携で支援が必要

な子どもには、就学に向けた支援体制を検討していける。

子どもの未来にとつ

保健福祉部長

必要かつ重要と考えられているが、5歳児検診実施の見解は。

5歳児の発達障がいに視点を置いた検診実施には、財政面のほか、見きわめができる医師や専門スタッフの確保が難しい。

さらに、発見した後の療育施設や医療機関のフォローが不十分な状況にある。

現時点では、5歳児に特定した検診を実施することは難しい。



より近い避難場所が車イスの移動をスムーズに



藤岡 緑 議員

平常時に災害弱者優先の避難場所確保を

民間施設も利用して、避難に活用していきたい

問

町内には小、中学校を含め9つの指定避難場所がある。大規模災害時に、自宅などからその避難場所へ迅速に移動できない高齢者や乳幼児、妊婦などに一時避難場所があると安心だ。そのための方策や考えは。

防災担当副町長

昨年の法律改正により町が従来の指定避難場所とは区別して一定基準の安全性を満たせば、公共民間問わず避難場所として指定することができるようになった。

ただ、予想される津波が到達するのに2時間程の時間的余裕があるの

で、まずは逃げて避難するのが大前提で、4月に各戸配布の防災マップ(津波編)を参考に避難ルートなどに役立ててほしい。

今後、民間施設などを利用する場合は、所有者・地域・町の三者で協定を締結してわかりやすい緊急避難場所の表示をし、避難に活用していきたい。

指定避難場所の耐震補強整備の状況と今後は

6施設26棟中22棟の耐震化が完了している

問

国の施策として、引き続き耐震補強などの防災対策には大きな支援がある。町としても指定避難場所となっている施設の耐震化を急ぐべきだ。現在の進捗度と今後の計画は。

防災担当副町長

最優先に耐震化を進めた小、中学校は平成26年2月現在ほとんど耐震化が完了し、本年度中に北伊予中学校の工事を行なう。昭和20年代に建築された松前中学校は費用対効果を考慮しつつ、建

替えを含め検討している。

ほかに保育所、公民館を合わせて9施設9棟については3棟が現行の基準で建築されている。今後は耐震診断をし、必要に応じ財政状況を勘案しつつ進めていく。



老朽化が進む西古泉水源地



加藤 博徳 議員

補助金等の申請書類の正当性確認はどこまで

要綱に従って許認可する官庁で審査する

問

補助金は税金での支出で、公正・公明でないとはならない。閉鎖的な執行権の行使では、町民は分からない。申請書類は、全項目担保確認が必要と思うがどうなのか。文章管理システムがあるか。

副町長

補助金を交付する場合、要綱に従って事務処理をする。書類に不備や誤りがある場合には修正を求め、確認をする。交付の要件を書類で満たされない場合は却下をする。

書類に誤りや漏れがなければ、支出に向けた手続を進める形になる。法人の認可が前提の場合、その法人の認可に係る許認可庁において審査をする。

水道会計の健全経営は

短期は料金改定、中長期は効率的な健全経営をめざす

問

水道事業会計が原価逆転現象の状態になりつつある。今後の需要の伸びが期待できない中で、値上げやむなしの状態だが、短期、中長期の戦略は。

町長

松前町の水道事業は、節水意識の向上など、今後とも使用水量の増加は見込めない。第6次拡張事業で恵久美、北伊予浄水場を建設したが、今後は浄水場の町債の償還などで多額の費用がかかり、内部留保資金も底をつく状況にある。経営の

安定化を図りながら、西古泉浄水場を早急に建設する必要がある。施設の効率的な維持管理、検針業務受付事務などの経常経費の削減など健全な経営状況を継続できる仕組みづくりを総合的に検討していく。



地震に対する防災対策は重要（伊方原発）



稲田 孔 議員

伊方原発の再稼働に町も反対を表明すべきだ

再稼働は国が決定する

問

伊方原発の再稼働是非の審査が進められているが、事故による町への影響とそれへの対応・対策をどうするのか。再稼働反対の世論が多数であり、それを無視することは許せない。町としても再稼働反対を表明すべきだ。

伊方原発の再稼働は策も重要だ。一般木造住宅の耐震化の現状と今後の対策はどうなっているか。老朽化したブロック塀対策、津波時の誘導対策についても問う。

再稼働は国が決定する。遅れている木造住宅の耐震化の促進のため、工事への町の補助金を来年度から90万円（現在60万円）に引き上げる。危険なブロック塀へ撤去の補助は今後検討する。

防災担当副町長

町は、原発から30km圏外であるため避難計画は義務化されていない。

地震に対する防災対

当町は、原発から30km圏外であるため避難計画は義務化されていない。

消費税増税など悪政から町民を守るべきだ

国の施策は社会保障充実をめざすもの

問

消費税増税が国民生活に大きな負担をもたらす。消費税法附則18条では景気悪化の際には増税を中止出来る。町は町民の暮らしを守る立場から中止を求める声を上げるべきだと思いがどうか。

安倍政権のもとでの社会保障改悪はさまざまのものがあ。町はこうした改悪にどう対応し、町民福祉をどう守るのか。高齢化対策として、以前廃止した敬老年金を復活すべきだと思いがどうか。

副町長

消費税増税で得られる財源は全て社会保障の財源となる。政府の社会保障制度改革計画も社会保障の充実と安定をめざすものだ。敬老年金を復活する考えはない。

町民の声

資源ごみ集団回収は
融通性を

西古泉 オーエム

不法投棄の防止など、
条例により町役場が窓口
になり指導・管理するの
は理解できません。町民課
ごみ対策係に確認した結
果では、指定された集積
場所の利用は、生ごみを
含め全ての廃棄物を各行
政区で、回収責任を負う
のであれば認めるとの見

解であったと思います。

西古泉では、資源ごみ
の回収をボランティア活
動の一環として環境部の
ユニホームを着用し、搬
送車には産業廃棄物運搬
車両のステッカーを貼り
東西リサイクルセンター
から公民館に集約してお
ります。又、リサイクル
活動で得たお金は、主に
ごみ集積場のダスター代
に使われ、残りは西古泉
ふれあい活動に還元して
おります。

4月より偶数月の日曜

日、朝8時から1時間余
り資源ごみの集団回収を
行う事が決定しました。
昨年度の一般会計予算
では清掃に対し6億円余
り計上され驚くばかりで
す。各自治会ではボラン
ティア活動を通じ、人の
輪を広め共通認識を持つ
事により助け合い制度が
生まれ、マナー向上、強
いては郷土を愛する精神
が育まれるものと思いま
す。

行政区が

主体で日曜
日の午前中
であれば、
一定の条件
をクリアー
出来れば、
集積場の利
用は認める
べきとだと
考えます。



町民の声の原稿
をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に
対するご意見・ご要望
などをどしどしお寄せ
下さい。

(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴席

第一回町議会を傍聴して

新立 砂野 盛

松前町議会は、17日間
の会期で熱心な論戦が行
われた。3月20日に水道
事業関連の議案では、約
40名の傍聴者がいた。水
道料金値上げを40%か
20%かで、賛成、反対の
討論の後採決し、修正案
(水道料金20%値上げ)

が可決された。

水道料金値上げとなる
と懐に直接影響する切実
さが身に沁みってくる傍聴
席であった。

町も議員も庶民の気持
ちを忘れてはならないと
思う一日であった。

町は、値上げについて
パンフ、広報、住民説明
会などで町民の理解を得
たいと発言した。
理事者は、安全、安定
おいしい水の供給を揚げ

ているが、松前町の上水

道は、天然水、他市水道
に比し、美味の点は劣る
と思われる。オゾン、活
性炭、生物などによる浄
水処理が必要であると思
う。費用との兼ね合いで
ある。理事者、議員の方
の御賢察を願う。



パソコンから傍聴

委員会もパソコンで

I/D

今回パソコンで松前
町議会を拝聴しました。
初日の本会議は議案
を各委員会に審議を付
託しました。最終日に
各委員長さんが審議報
告されましたが、中身
の論議が分からないの状

態でした。

委員会もパソコンで
拝聴できればもつと議
論の中身と全体のつな
がり分かり易いと思
います。是非ご検討を！
また、見る時間に制
約されない録画配信。
6月議会
から楽しみ
にしていま
す。

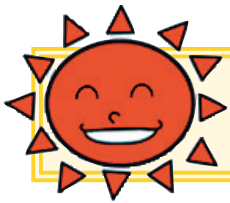


傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届
けるだけで、どなたで
も自由にできます。

松前町議会は、本会
議と各常任委員会の傍
聴席を設け一般公開し
ています。

多くのみなさんの傍
聴を庁舎5階でお待ち
しています。
(次回は6月上旬下旬
の予定です)



松前町で生きる & みんなで支える



僕の夢は
パン屋さん

これが自慢の
酵母菌です

諏訪 智彦さん、次男 颯汰くん
長男 光亮くん、奥様 美鈴さん

～ At home なパン工房 ～

世界に一つだけの 酵母パン

学生時代は衛生工学専攻。
微生物研修で酵母菌との出合いが
自家製酵母『すわばん』の源。
33歳の時、食に関連した職業への挑戦。
会社員から横浜で修行し、パン職人をめざす。
お嫁さんの実家、松前町に帰省し夢を実現。
家族でパン屋を開いて1年半。
店内は、温かい雰囲気と焼き立てパンの
良い香りがいっぱい。
世界に一つだけすわばん酵母の美味しいパン。
季節感も取り入れた新商品も好評です。
新作次はなんでしょう。

まちの話題

見守りのスーパーマン

子どもたちの安全を守る行動を続けて
44年。毎年、百本余の横断歩道用の旗を提
供する矢野正次さん（北黒田）。子どもたち
の自筆メッセージ入りの黄色い旗も横断
歩道で役立っています。

安全を見守り続ける矢野さんの本業は会
社の社長さん。朝は見守り隊、昼間のイベン
ト時は交通安全指導員、夜は青少年を見守
る青パト隊。まるで見守りスーパーマン。
実直さと行動力に表彰も多々。謙虚な人
柄にも感銘しました。

矢野さん、今日もありがとうございます。

多くの方々のご協力で、
松前町の安全が保たれています



編集後記

平成26年度予算が決まり
ました。我々も限られた予
算内での事業を、防災と生
活向上に向けて、住民に対
し、その責任を重く受け止
め、真剣に審議をしており
ます。

少子高齢化に強く、安
全・安心の明るい「まちづく
り」を、みんなで進めていき
ましょう。

(稲田輝宏)

議会広報常任委員会

- 委員長 藤岡 緑
- 副委員長 松本 二美
- 委員 八束 正
- 委員 寺下 武
- 委員 加藤 博徳
- 委員 稲田 輝宏
- 委員 稲田 孔



この広報紙は、資源保
護と環境に配慮して大
豆油インキ、再生紙で
作成しています。